東京都立飛鳥高校 対 岡山県立烏城高校

■球場 大田スタジアム 第4試合 準決勝

■天候

曇り

8月11日(水)

■試合時間 2時間41分 ■備考

■審判 球審:渡辺 塁審:伊藤 小林 家田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
烏城	東中国・岡山	0	0	1	0	5	0	1	0	0							7	6	3
飛鳥	東京1	1	0	1	4	0	3	0	0	×							9	14	5

		鳥	城																				
		ポ	ジショ	ョン		氏名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	中				山	崎準	車	3	2	0	0	死球		遊失		死球	三ゴ		捕邪				
2	-				實	兼透	₹介	5	1	1	0	捕飛		投ゴ		二安	'n П			ĬП Ш			
3	Ш		投		宍	戸作	大	3	1	0	0	三振		投ゴ		四球		四球		三邪			
4	捕	投	左		大	崎 光	:士郎	4	0	2	1	死球		右安		三邪		Π		右安			
5	投	左	Ξ		藤	原素	₹介	4	1	1	2	四球		三ゴ		中安		三邪		一飛			
6	遊				大	森	卓	4	0	0	0	三飛			左直	ニゴ		遊失					
7	左	捕			津	田寿	を史	4	0	0	0		一邪		三ゴ	投ゴ		Ϊ					
8	右				村	上 貴	見	4	0	1	0		投ゴ		三振		中安		ーゴ				
9					Ш	樹将	第	4	1	1	0		投ゴ			中安	三振		三邪				
							•																
							•																
	_			_		合計	•	35	6	6	3	残	塁:7	併着	设:0						 	 	
										備	考												

## ■バッテリー

■日時

# 投手 藤原恭介 大崎光士郎 宍戸伸大

	捕	手	
大	崎	光士郎	

#### ■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
藤原恭介	3 1/3	16	6	2	1	3
大 崎 光士郎	0 2/3	4	2	2	0	1
宍 戸 伸 大	4	23	6	2	4	2

		飛	(IIV)																					
		ポ	ジショ	ョン		氏名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	=				古	田拳	±	5	3	5	1	遊安		中安	三安			中安						
2	中				剌	田	陸	5	1	2	2	三振		右安	三振		中3	投ゴ						
3	投				4	出延	寿	4	0	1	1	一飛		ĬП III		二飛	中安		四球					
4	Ξ				田	座保	: 久	3	1	1	1	左安				三邪			死球					
5	右				野	口聖	人	5	1	3	0	三ゴ			中2	遊安	左安		右飛					
6	捕				小	林	仁	4	0	0	0		三ゴ		三振	四球	三振		二飛					
7	_				久	山功	資	4	1	1	1		二飛		左安	死球	中飛		左飛					
8	左				島	敬	雄	4	1	1	1		二飛		中2	二ゴ		ニゴ						
9	遊				白	井 拓	哉	4	1	0	0			遊ゴ	三振		三失	三振						
						合計		38	9	14	7	残	塁:10	併	殺:0	•				•	•	•		
							•			備	考													

### ■バッテリー

	投	手		
上	出	延	寿	

	捕	手	
小	林	仁	

# ■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
上出延寿	9	41	6	3	3	3

#### ■戦評

大会第3日目、準決勝第2試合、飛鳥と烏城の対戦は共に午前中神宮球場での準々決勝を戦い抜き、大田スタジアムに移動してのナイトゲームとなった。1回表 先攻の烏城はこの試合で四連投となる飛鳥エース上出の立ち上がりを捉え、三つの四死球で二死満塁と攻め立てるが後続を絶たれ無得点に終わる。その裏飛 鳥はこの試合5打数5安打と大当たりの1番吉田が内野安打で出塁。すかさず二盗を決め4番日座の左前適時打で生還し1点先制。3回表烏城は敵失の走者を4 番大崎が右前適時打で返し同点に追い着く。その裏飛鳥は1番吉田、2番池田の連続安打で1点追加。4回裏には死球と二塁打で一死エ・三塁から7番久山の左 前適時打で1点追加。返球が逸れる間にもう1点追加。堪り兼ねた烏城ベンチはここで捕手の大崎をマウンドに送るがその後も2本の安打を浴びこの回4点を献 上する。追い着きたい烏城は5回表二つの四死球に3本の安打と敵失を絡め一気に5点を奪い6ー6の同点に追い着く。振り出しに戻った試合は6回裏飛鳥が敵 失と安打の走者を2番池田が右中間越敵時三塁打で返し2点追加。続く3番上出の中前適時打でこの回3点目。9ー6と引き離しに入る。7回表烏城は四球の走 者を二塁に進め敵失の間に1点を奪い9ー7と追いすがる。烏城攻撃陣は8回、9回も上出を攻めるが飛鳥守備陣の気迫溢れるプレーに反撃を絶たれゲームセット。飛鳥が得意の逆転勝ちで決勝に進出した。敗れはしたが烏城の最後まで諦めずに粘り強く戦うひたむきなプレーは立派な三位であった。